

# 現況評価に一貫性なし 評価額の積算根拠に疑問が…

信楽窯業技術試験場移転用地のために、市が2億800万円で土地を先行取得

## 9月議会

継続審査動議提案理由 (要旨) 岡田重美議員

議案第78号 財産の取得につき議決を求めることについて

この議案は、陶芸の森前私有地18,261.36平方メートルを2億800万円(土地開発基金で公共事業用地として先行取得の信楽窯業技術試験場移転先8,810.15㎡を1億35万円、一般会計で陶業振興事業用地として9,451.21㎡を1億765万円)で取得するものがある。

あらためて精査したところ、疑問を呈する個所が2カ所ある。

第1点は、鑑定評価書の物件明細で、土地開発基金で取得の2200番の6は、登記簿では山林となっているが、9月20日の産業建設常任委員会での同僚議員の指摘に対し、鑑定士が「現況」を宅地と評価したためとの説明。そうであるならば、一般会計で取得の、地続きの2200番の1は、地目は山林であるが、明らかに現況は「宅地」である。

第2点は、一般会計で取得予定の、2388番の1の地目は原野となっているが、国道307号沿いで、あきらかに現況は宅地と判断できる。担当課から鑑定事務所に確認したところ、「現況は宅地であるが、草が生えているので登記の通り原野として評価」したとのことであった。

この3つの土地に関して、現況評価に一貫性がないことから、これをいま議決するのではなく、あらためて十分な説明と検証が必要であり継続審査を提案する。

9月定例議会は、9月2日から10月3日まで開かれました。最終日の3日は、各常任委員会の委員長報告に続き、30件の議案と6件の意見書の討論・採択が行われました。日本共産党の議員団は、平成30年度一般会計決算など5つの議案について意見を述べ、反対をいたしました。なかでも陶芸の森前私有地の財産取得に関する議案については、不動産鑑定評価書と

登記上の地目・現況が異なる箇所が見られ、2億800万円の評価額に影響があることから、岡田議員が継続審査の動議を提案しましたが、賛成は山岡議員・小西議員・無党派の鶴飼議員の3名で継続審査は否決、その後議案採決が行われ、賛成多数で可決されました。税金が適正に使われるのかどうか、行政をチェックする議員・議会の役割が問われます。

### 3カ所の地目と現況を比較すると…

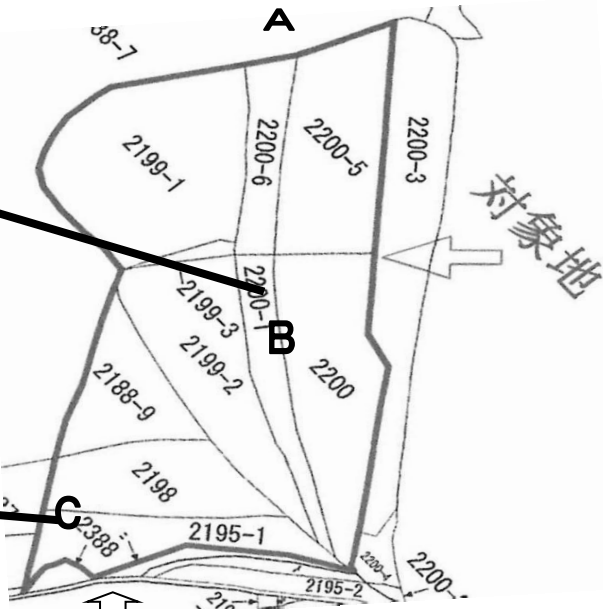
	地番	地目(登記)	地目(鑑定書)	現況	面積(㎡)
A	2200番6	山林	宅地	宅地	1,235
B	2200番1	山林	山林	宅地	873
C	2388番1	原野	原野	宅地	211



2200番1の現況 登記上の地目は山林



2388番1の現況 登記上の地目は原野



国道307号

陶芸の森前私有地公団

10月7日開催。小西喜代次議員は、県が来年4月から実施する小児救急医療体制再編計画で、甲賀病院でこれまで通り継続する事、5月1日より休床の一病棟48床早期再開、また、本人希望でない入院個室利用者の実例から実態の検証を求めました。

**公立甲賀病院組合議会**  
10月7日開催。平成30年度一般会計歳入歳出決算などの議案が審議されました。山岡光議員は、令和元年上半年の救急出勤状況について一般質問しました。一般質問は山岡議員と湖南市の松井圭子議員のみでした。

### 甲賀広域行政組合議会

## 開票事務不正調査特別委員会

10月8日、第7回開票事務不正調査特別委員会が開催されました。2017年10月の衆議院議員総選挙で市選管が白票水増しを行った問題について、これまでの調査内容をまとめた報告書案が、谷永兼二委員長より提案され、各議員から意見が出されました。山岡議員は、報告書であり簡潔にまとめることが必要、この事件は一票の重みが問われることからも、その点を強調し記載すべきと発言しました。出された意見をもとに再度報告書が作成され、12月本会議で委員長報告がされる予定です。

## 日本共産党

### 甲賀市議員団ニュース

2019年 10月 13日 第280号



山岡 光広  
甲南町森尻 16  
Tel 86-2985  
Fax 86-0415



小西喜代次  
信楽町勅旨 456  
Tel 83-0765  
Fax 83-0765



岡田 重美  
土山町南土山甲 78-15  
Tel 66-0696  
Fax 66-0696